

3 下水道事業会計

[概要]

平成30年度下水道事業会計予算は、業務の予定量として公共下水道処理区域面積3,042.8ha、年間総処理水量21,992千m³を見込み、これらに必要な諸経費及び使用料収入等を計上しました。

まず、収益的収支ですが、下水道事業収益6,124,887千円から消費税及び地方消費税分172,294千円を控除し、下水道事業費用5,578,000千円から消費税及び地方消費税分100,125千円を控除した結果、当年度純利益は474,718千円となります。

次に、資本的収支ですが、本年度の主な事業としては、玉川ポンプ場事業のほか、西部浄化センターの再構築事業や老朽化した合流管渠の改築事業などの建設改良費を計上しました。

収入においては、これら支出に対応する財源として、国庫補助金、企業債等を計上しました。

その結果、資本的収入4,277,786千円、資本的支出6,320,000千円となり、差引2,042,214千円の財源不足となる見込みですが、これは、損益勘定留保資金等で補てんすることとしました。

[収益的収支及び資本的収支]

収益的収支

項 目		予算額(千円)
収 入	使用料収入	2,270,362
	他会計負担金	1,468,715
	他会計補助金	202,042
	長期前受金戻入	2,120,140
	その他収入	63,628
	収 入 計	6,124,887
支 出	職員給与費	573,145
	動力費	166,940
	補修費等	75,939
	減価償却費	3,473,851
	支払利息	340,920
	その他支出	947,205
支 出 計	5,578,000	
差 引	546,887	
消費税及び地方消費税	△ 72,169	
当年度純利益 (△は当年度純損失)	474,718	
その他未処分利益剰余金変動額	200,000	
未処分利益剰余金 (△は未処理欠損金)	1,455,301	

資本的収支

項 目		予算額(千円)
収 入	企業債	1,899,300
	国庫補助金	1,948,900
	他会計出資金	408,286
	その他収入	21,300
	収 入 計	4,277,786
支 出	管渠事業費	2,933,439
	処理場事業費	1,089,099
	受益者負担金徴収事務費	682
	その他支出	31,480
	企業債償還金	2,265,300
支 出 計	6,320,000	
差 引	△ 2,042,214	

資本的収支差引不足額は、損益勘定留保資金等で補てんします。